

明 細 書

発明の名称：商品包装箱

技術分野

[0001] 本発明は、下箱体と、下箱体にヒンジで開閉自在に連結されて、下箱体に重なると商品を収容する上箱体とを備える商品包装箱に関する。

背景技術

[0002] 仲のよい男女の間ではしばしば男性から女性にジュエリーはプレゼントされる。男性はジュエリーの購入にあたって女性とともにジュエリーショップを訪れる。例えば特許文献1に示されるように、ジュエリーショップはジュエリーの引き渡しにあたって専用に用意された包装箱でジュエリーを梱包する。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開2019-195405号公報

特許文献2：実用新案登録第3050705号

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 香りはひとの記憶に強く残る。ひとは香りから特定の場面を思い出すことができる。ジュエリーの購入の場面が香りに紐付けられれば、香りをかぐたびに女性はその場の喜びをまざまざと覚えることができる。例えばジュエリーショップの店内の香りが包装箱に紐付けられれば、女性は、自宅で包装箱に近づくたびに、プレゼントを受け取った際の喜びを思い出すに違いない。しかしながら、これまでのところ、梱包に利用される包装箱でありながら、香りの放出源が組み込まれたものは見受けられない。したがって、香りの記憶は、プレゼントを受け取った際の喜びを思い出すきっかけとして利用されていない。

[0005] 特に、ジュエリーのブランドは香水の販売も手がける。ジュエリーの包装

箱から香水が薫れば、女性は、香水をつけるたびに、プレゼントを受け取った際の喜びを思い出すに違いない。香水の利用は促進されることができる。しかも、包装箱の香水は時間の経過とともに発散してしまうので、包装箱の香りの維持にあたって香水は補充される。香水の販売はさらに促進されることができる。香水の原価率は低いことから、香水の販売はジュエリーブランドの収益向上に貢献することができる。

[0006] 本発明は、プレゼントを受け取った際の喜びを思い出すきっかけを作り出すことができる商品包装箱を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0007] 本発明の第1形態によれば、下箱体と、前記下箱体にヒンジで開閉自在に連結されて、上面に窪みを区画する上箱体と、前記窪みの輪郭に合わせこまれて前記窪み内に固定され、前記窪み内で水平面に重ねられ香気成分を含有する紙片に覆い被さる板材とを備え、前記窪みは、前記板材の外周に隣接し前記板材の上面を含む水平面で開口する空間を区画する商品包装箱は提供される。

[0008] 板材と水平面との間には紙片の厚みに起因してわずかながら隙間が形成される。したがって、紙片の香気成分は板材の外周から窪み内で隣接する空間（以下「通気空間」という）に漏れ出る。漏れ出た香気成分は通気空間から上箱体の上方に向かって放散される。こうして商品包装箱の周囲には香りが漂う。商品包装箱は例えばプレゼントの梱包に利用されることができる。プレゼントの受け手は商品包装箱を取り出すたびに香りを楽しむことができる。こうした商品包装箱はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すきっかけを作り出すことができる。贈り主の印象は受け手に強く植え付けられることができる。

[0009] その他、商品包装箱は香りの放出源として室内に飾られることができる。プレゼントの受け手は室内で頻繁に商品包装箱を目にすることができる。こうして頻繁にプレゼントの受け手はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すことができる。贈り主の印象は強く受け手に刷り込まれることができる。

。

- [0010] 商品包装箱は、前記窪みの輪郭に合わせて前記板材の表面を含む水平面から起立し前記板材の表面上の空間を囲む壁面を有する囲みを備えてもよい。囲みの働きで上箱体の上面にはトレイが形成されることができる。板材上にジュエリーなどの小物は置かれることができる。囲みの働きで小物は板材上に保持されることができる。こうしたトレイは日常的に利用されることから、商品の所有者は頻繁に商品包装箱を目にすることができる。プレゼントを受け取った際の感情は所有者の記憶に強く刷り込まれることができる。商品包装箱の観察者には商品の印象が強く植え付けられることができる。
- [0011] 商品包装箱は、前記板材の輪郭に合わせてこまれて前記窪み内に配置され、前記水平面を規定し前記水平面で前記紙片を受け止め、前記板材に結合される支持板をさらに備えてもよい。このとき、前記空間は前記支持板に隣接する位置まで連続すればよい。板材と支持板との間に香気成分を含有する紙片は挟み込まれる。板材、紙片および支持板は1ユニットとして機能することができる。区画された空間から板材および支持板の外周にアクセスは許容されることができる。板材および支持板の外周に外力を作用させることで板材および支持板は簡単に窪みから引き上げられることができる。板材、紙片および支持板はセットで簡単に上箱体から取り外されることができる。
- [0012] 商品包装箱は、前記板材に固定される磁石と、前記支持板に固定されて、前記磁石の磁力に基づき前記磁石に固着され、前記板材に前記支持板を固定する磁性体とを備えてもよい。磁力の働きで下板材は上板材に固着される。板材と支持板との間に香気成分を含有する紙片は挟み込まれる。磁力に抗して支持板は板材から分離されることができるので、紙片には香気成分が補充されることができる。あるいは、紙片が交換されてもよい。こうしてプレゼントの受け手はいつまでも商品包装箱から香りを楽しむことができる。板材と支持板とでは磁石および磁性体は入れ替えられてもよい。
- [0013] 商品包装箱は、前記上箱体に固定されて前記磁性体の下方に配置される固定用磁性体をさらに備えてもよい。磁石の磁力線は磁性体および固定用磁性

体を流通することができる。したがって、磁力の働きで支持板は窪み内に固定されることができる。板材および支持板は上箱体の開閉に拘わらず窪み内に良好に保持されることができる。

[0014] 少なくとも前記板材は透明な材料から形成されればよい。このとき、前記板材は、水平方向に前記紙片から外れた位置で前記水平面に重ねられるインスタントフィルムに覆い被されればよい。インスタントフィルムには商品の購入の場面がその場で現像されることができる。板材は窪み内にインスタントフィルムを保持する役割を果たす。こうして写真は簡単に商品包装箱に取り付けられることができる。観察者は透明な板材を透かしてインスタントフィルムの画像を楽しむことができる。画像は、プレゼントを受け取った際の感情をさらに強める役割を果たすことができる。

[0015] 本発明の第2形態によれば、下箱体と、前記下箱体にヒンジで開閉自在に連結されて、上面に窪みを区画する上箱体と、前記窪みの輪郭に合わせこまれて前記窪み内に着脱自在に固定され、裏面に、香気成分を含有する紙片を受け止める平面を規定する板材と、前記板材の裏面に結合されて、前記平面の両側で平行に線形に延びる1対のレールと、前記レールに案内されて、前記平面に倣って前記紙片を保持する第1位置、および、前記平面から離脱する第2位置の間で変位するスライダーとを備え、前記窪みは、前記板材の外周に隣接し前記板材の上面を含む水平面で開口する空間を区画し、前記スライダーは、前記空間に、前記平面に接する前記紙片の収容空間を接続する通路を区画する商品包装箱は提供される。

[0016] 紙片の香気成分は通路から窪み内で隣接する空間（以下「通気空間」という）に漏れ出る。漏れ出た香気成分は通気空間から上箱体の上方に向かって放散される。こうして商品包装箱の周囲には香りが漂う。商品包装箱は例えばプレゼントの梱包に利用されることができる。プレゼントの受け手は商品包装箱を取り出すたびに香りを楽しむことができる。こうした商品包装箱はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すきっかけを作り出すことができる。贈り主の印象は受け手に強く植え付けられることができる。その他、商

品包装箱は香りの放出源として室内に飾られることができる。プレゼントの受け手は室内で頻繁に商品包装箱を目にすることができる。こうして頻繁にプレゼントの受け手はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すことができる。贈り主の印象は強く受け手に刷り込まれることができる。

[0017] 板材は窪みから取り外されることができる。スライダーの変位に応じて紙片は板材から単体で引き離されることができる。紙片は香気成分の吸収体そのものなので、香気成分は紙片に染み込めば済む。例えば香水のように香気成分は紙片に吹き付けられれば済む。香気成分は短時間に手間いらずで補充されることができる。そして、紙片単体の交換に応じて香りは他の香りに簡単に切り替えられることができる。香水のように違った香気成分は新しい紙片に吹き付けられれば済む。

[0018] 商品包装箱は、前記板材に取り付けられて、前記板材の表面または裏面に規定される受け平面に倣ってインスタントフィルムを保持する保持体をさらに備えてもよい。インスタントフィルムには商品の購入の場面がその場で現像されることができる。板材は窪み内にインスタントフィルムを保持する役割を果たす。こうしてインスタントフィルムは簡単に商品包装箱に取り付けられることができる。観察者は香りとともにインスタントフィルムの画像を楽しむことができる。画像は、プレゼントを受け取った際の感情をさらに強める役割を果たすことができる。

[0019] 前記板材は、前記裏面に前記平面および前記受け平面を規定し、少なくとも前記インスタントフィルムの画像を覆う透明域を有する樹脂板であればよい。観察者は透明域からインスタントフィルムの画像を観察することができる。板材は画像の視認性を確保しながらインスタントフィルムの画像を保護することができる。ここでは、スライダーの取り外しにあたって保持体は板材上に維持されることができる。紙片の交換時にインスタントフィルムはそのまま板材上に保持され続けることができる。紙片の交換時にインスタントフィルムの位置ずれは回避されることができる。

[0020] 前記板材は透明体で構成されればよく、前記板材の前記表面には、少なく

とも前記インスタントフィルムの縁を覆い隠す不透明膜が形成されればよい。板材は単一の透明材料から成形されることができる。板材は単純な工程で成形されることができる。安価な成形は実現されることができる。その一方で、インスタントフィルムの縁は不透明膜で隠されることから、画像は良好に強調されることができる。

[0021] 前記保持体は、前記受け平面の両側で平行に延びる1対のレールに案内されて、前記受け平面に倣って前記インスタントフィルムを保持する第1位置、および、前記受け平面から離脱する第2位置の間で変位するスライダーであればよい。レールは板材の裏面に配置されることから、板材の表面は平滑面に維持されることができる。画像の視認性は良好に維持されることができる。保持体の変位に応じてインスタントフィルムは板材から取り外されることができる。ここでは、保持体には、レールに面一の外向き面が形成されることができる。こうして板材では裏面の形状は整えられることができる。

[0022] 前記通路は、前記スライダーに形成されて一端で前記紙片に向き合う貫通口であればよく、前記板材の裏面には、前記窪み内の水平面および前記スライダーの間に前記空間に前記貫通口を接続する間隔を形成する磁石が固定されればよく、前記上箱体には、前記水平面で前記磁石の引力を受ける磁性体が固定されればよい。磁石の働きで板材は上箱体の窪み内に固定されることができる。板材および支持板は上箱体の開閉に拘わらず窪み内に良好に保持されることができる。紙片の香気成分は貫通口から水平面およびスライダーの間隔に流出し通気空間に漏れ出る。漏れ出た香気成分は通気空間から上箱体の上方に向かって放散される。

[0023] 本発明の第3形態によれば、下箱体と、前記下箱体にヒンジで開閉自在に連結されて、上面に窪みを区画する上箱体と、前記窪みの輪郭に合わせこまれて前記窪み内に固定され、前記窪み内で水平面に重ねられ香気成分を含有する紙片に覆い被さる板材とを備え、前記板材は、前記紙片の輪郭よりも内側で前記紙片に重なり前記板材の上面で開口する貫通口を有する商品包装箱は提供される。

- [0024] 紙片の香気成分は貫通口から板材の上方に向かって放散されることができる。商品包装箱の周囲には香りが漂う。商品包装箱は例えばプレゼントの梱包に利用されることができる。プレゼントの受け手は商品包装箱を取り出すたびに香りを楽しむことができる。こうした商品包装箱はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すきっかけを作り出すことができる。贈り主の印象は受け手に強く植え付けられることができる。その他、商品包装箱は香りの放出源として室内に飾られることができる。プレゼントの受け手は室内で頻繁に商品包装箱を目にすることができる。こうして頻繁にプレゼントの受け手はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すことができる。贈り主の印象は強く受け手に刷り込まれることができる。
- [0025] 板材と水平面との間に紙片は挟まれる。板材の貫通口は紙片の輪郭よりも内側で紙片に重なることから、板材は貫通口の輪郭全域にわたって水平面に紙片を押さえつけることができる。したがって、貫通口の内側で紙片の波打ちは防止されることができる。平面の紙片で水平面に美観は施されることができる。紙片は隙間なく貫通口を塞ぐので、紙片の香気成分は効率的に貫通口から上方に漂うことができる。隙間が生じると、香気成分は隙間から貫通口以外に漏れ出てしまう。
- [0026] 前記板材には、前記板材の下面から突出して前記水平面上の前記紙片に食い込む突片が形成されてもよい。板材が水平面に紙片を押さえつける際に、突片には押し当ての圧力が集中することができる。その結果、突片は紙片に食い込むことができる。紙片は強い圧力で板材と水平面との間に挟まれることができる。水平方向に紙片の移動は防止されることができる。紙片は良好に保持されることができる。
- [0027] 本発明の第4形態によれば、下箱体と、前記下箱体にヒンジで開閉自在に連結されて、上面に窪みを区画する上箱体と、前記窪みの輪郭に合わせこまれて前記窪み内に着脱自在に固定され、裏面に、香気成分を含有する紙片を受け止める平面を規定する板材と、前記板材の裏面に結合されて、前記平面の両側で平行に線形に延びる1対のレールと、前記レールに案内されて、前

記平面に倣って前記紙片を保持する第1位置、および、前記平面から離脱する第2位置の間で変位するスライダーとを備え、前記板材は、前記平面に接する前記紙片の収容空間に接続されて前記板材の表面で開口する貫通口を区画する商品包装箱は提供される。

[0028] 紙片の香気成分は貫通口から板材の上方に向かって放散されることができる。商品包装箱の周囲には香りが漂う。商品包装箱は例えばプレゼントの梱包に利用されることができる。プレゼントの受け手は商品包装箱を取り出すたびに香りを楽しむことができる。こうした商品包装箱はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すきっかけを作り出すことができる。贈り主の印象は受け手に強く植え付けられることができる。その他、商品包装箱は香りの放出源として室内に飾られることができる。プレゼントの受け手は室内で頻繁に商品包装箱を目にすることができる。こうして頻繁にプレゼントの受け手はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すことができる。贈り主の印象は強く受け手に刷り込まれることができる。

[0029] 板材は窪みから取り外されることができる。スライダーの変位に応じて紙片は板材から単体で引き離されることができる。紙片は香気成分の吸収体そのものなので、香気成分は紙片に染み込めば済む。例えば香水のように香気成分は紙片に吹き付けられれば済む。香気成分は短時間に手間いらずで補充されることができる。そして、紙片単体の交換に応じて香りは他の香りに簡単に切り替えられることができる。香水のように違った香気成分は新しい紙片に吹き付けられれば済む。

発明の効果

[0030] 以上のように本発明によれば、プレゼントを受け取った際の喜びを思い出すきっかけを作り出すことができる商品包装箱は提供されることができる。

図面の簡単な説明

[0031] [図1]本発明の第1実施形態に係る商品包装ユニットの外観を概略的に示す斜視図である。

[図2]下外箱に収容された内箱を概略的に示す斜視図である。

[図3]本発明の第1実施形態に係る内箱の外観を示す斜視図である。

[図4]内箱の平面図である。

[図5]上箱体が開放された際に内箱の構造を概略的に示す斜視図である。

[図6]ヒンジの構成を概略的に示す拡大斜視図である。

[図7]図3の7-7線に沿った垂直断面図である。

[図8]図5の8-8線に沿った垂直断面図である。

[図9]図4の9-9線に沿った断面に該当し、フレグランスユニットの拡大部分断面図である。

[図10]図3の10-10線に沿った垂直断面図である。

[図11]第1具体例に係る光照射回路の回路図である。

[図12]音声再生ユニットの構成を概略的に示すブロック図である。

[図13]図8に対応し、録音スイッチおよび防護体の関係を示す図である。

[図14]図9に対応し、第2紙片の位置で、他の具体例に係るフレグランスユニットの拡大垂直断面を示す図である。

[図15]図14に対応し、さらに他の具体例に係るフレグランスユニットの拡大垂直断面図である。

[図16]図14に対応し、さらに他の具体例に係るフレグランスユニットの拡大垂直断面図である。

[図17]図14に対応し、さらに他の具体例に係るフレグランスユニットの拡大垂直断面図である。

[図18]図17の拡大部分断面図に相当し、変形例に係る上板材の構造を概略的に示す図である。

[図19]第2具体例に係る光照射回路の回路図である。

[図20]本発明の第2実施形態に係る内箱の平面図である。

[図21]図20の21-21線に沿ったフレグランスユニットの概略断面図である

[図22]図20の21-21線に沿った内箱の拡大部分断面図である。

[図23]図21に対応し、変形例に係るフレグランスユニットの概略断面図で

ある。

[図24]図20の24-24線に沿った拡大部分垂直断面図であって、香氣成分の通路を概略的に示す図である。

[図25]図24に対応し、他の具体例に係るフレグランスユニットの拡大垂直断面図である。

[図26]図20の24-24線に沿った拡大部分垂直断面図に相当し、さらに他の具体例に係るフレグランスユニットを示す図である。

発明を実施するための形態

[0032] 以下、添付図面を参照しつつ本発明の実施形態を説明する。

[0033] 図1は本発明の第1実施形態に係る商品包装ユニットを概略的に示す。商品包装ユニット101は外箱102を備える。外箱102は、下外箱103と、上方から下外箱103に被さる上外箱104とで形成される。図2に示されるように、下外箱103は、四角い輪郭の底板103a、および、底板103aの4辺から垂直に立ち上がる4つの側板103bから構成される。下外箱103の内側には直方体の収容空間が区画される。収容空間には内箱（商品包装箱）11が収容される。底板103aおよび側板103bは個々に平たい紙板で形成される。底板103aおよび側板103b並びに側板103b同士は稜線で相互に結合される。下外箱103は稜線で継ぎ目なく連続する外観を有する。

[0034] 上外箱104は、四角い輪郭の天板104a、および、天板104aの4辺から垂直に下降する4つの側板104bから構成される。天板104aは下外箱103の側板103bの上端に支えられて側板103bで囲まれる下外箱103の開口105を塞ぐ。上外箱104の側板104bは下外箱103の側板103bを取り囲む。天板104aおよび側板104bは個々に平たい紙板で形成される。天板104aおよび側板104b並びに側板104b同士は稜線で相互に結合される。上外箱104の上面には例えば販売者や製造者のロゴがプリントされることができる。上外箱104は稜線で継ぎ目なく連続する外観を有する。上外箱104は全体に不透明である。その他、

天板 104 a には透明な樹脂材が用いられてもよい。

[0035] 図3に示されるように、内箱 11 は、下箱体 12 と、下箱体 12 に重なって下箱体 12 とともに直方体を形成する上箱体 13 とを備える。下箱体 12 は、四角い輪郭の底板 14 a、および、底板 14 a の 4 辺から垂直に立ち上がる 4 つの側壁 14 b を有する硬質の樹脂成形体と、樹脂成形体の外面に貼り付けられて、樹脂成形体に装飾を施す貼り紙 15 とを有する。上箱体 13 は、四角い輪郭の窪み 61 でフレグランスユニット 62 を受け入れる天板 16 a、および、天板 16 a の 4 辺から下降し下端で下箱体 12 の側壁 14 b の上端に合わさって内箱 11 の側壁を形成する側壁 16 b を有する硬質の樹脂成形体と、樹脂成形体の外面に貼り付けられて、樹脂成形体に装飾を施す貼り紙 17 とを有する。貼り紙 15、17 には例えばスエード調や布模様の樹脂シートが用いられればよい。貼り紙 17 は窪み 61 の内面に覆い被さる。窪み 61 の内面は貼り紙 17 でキレイに整えられる。上箱体 13 は、少なくとも窪み 61 を仕切る範囲で、通気を遮断する材質（非通気性の材質）で形成される。

[0036] フレグランスユニット 62 は、窪み 61 の輪郭に合わせこまれて窪み 61 内に固定される上板材 62 a を備える。上板材 62 a は窪み 61 にはめ込まれる。はめ込みにあたって上板材 62 a は例えば平面視の上縁および下縁で窪み 61 の内壁面に接触する。平面視の上縁および下縁（あるいはいずれか一方）は平面視の上下方向に上板材 62 a を位置決めする。上板材 62 a は例えば透明な硬質の亚克力板から構成されることができる。上板材 62 a は通気を遮断する材質（非通気性の材質）で形成される。上板材 62 a の表面は平坦面 63 を区画する。平坦面 63 上の空間は囲み 64 で囲まれる。囲み 64 は、窪み 61 の輪郭に合わせて平坦面 63 を含む水平面から起立する壁面 64 a を有する。輪郭の辺ごとに壁面 64 a は 1 鉛直面内で窪み 61 の内壁面から連続する。壁面 64 a は鉛直方向に上板材 62 a の下降を案内することができる。こうして上板材 62 a および囲み 64 は上箱体 13 の上面に協働でトレイを形成する。上板材 62 a はトレイの底板全体を構成する。

ここでは、窪み61は、上板材62aの外周に隣接し平坦面63を含む水平面で開口する空間65を区画する。空間65は平面視の左縁および右縁の外側に配置される。空間65は左縁または右縁のいずれかに配置されてもよい。空間65は、トレイとして利用される際に想定される小物の落下を防ぐ寸法で開口する。

[0037] 図4に示されるように、上板材62aは、窪み61内に配置されるインスタントフィルム66に覆い被さる。上板材62aの下面はインスタントフィルム66の上面に重ねられる。平面視でインスタントフィルム66の全体は上板材62a下に配置される。平面視でインスタントフィルム66から上側に外れた位置で上板材62aには第1装飾体67aが固定される。第1装飾体67aは例えば平面視の上縁に平行に帯状に平坦面63にプリントされる。第1装飾体67aには例えば不透明なインクが用いられる。同様に、平面視でインスタントフィルム66から下側に外れた位置で上板材62aには第2装飾体67bが固定される。第2装飾体67bは例えば平面視の下縁に平行に帯状に平坦面63にプリントされる。第2装飾体67bには例えば不透明なインクが用いられる。

[0038] 図5に示されるように、下箱体12には側壁14bで囲まれた直方体の空間に緩衝材18が嵌め込まれる。緩衝材18は、例えば、スポンジと、スポンジを包み込む布材18aとで形成される。緩衝材18にはスリット19が形成される。スリット19には例えば指輪（ジュエリー）21が差し込まれる。緩衝材18の弾性力の働きで指輪21はスリット19内に保持される。

[0039] 指輪21は、例えば指の太さに応じた径を有するプラチナ製の環部材22と、環部材22の台座に固定されるダイヤモンド粒23とを備える。ダイヤモンド粒23は1つであっても複数であってもよい。ダイヤモンド粒23はストロング以上の青色蛍光性（ストロングブルーまたはベリーストロングブルー）を有する。ダイヤモンド粒23は、可視光（例えば自然光や電灯の光）の下で透明な輝きを放つ一方で、紫外線の下では青色に輝く。こうしてダイヤモンド粒23は下箱体12に支持される。複数のダイヤモンド粒23が

配置される場合には、全ての（あるいはデザイン上でまとまりある群ごとに）ダイヤモンド粒 2 3 の青色蛍光性はストロングブルーまたはベリーストロングブルーに統一されるとよい。

[0040] 上箱体 1 3 には側壁 1 6 b で囲まれた直方体の空間内に内張材 2 4 が嵌め込まれる。内張材 2 4 は、内箱 1 1 の天井面を形成する四角い輪郭の化粧天板 2 4 a と、化粧天板 2 4 a の 4 辺からそれぞれ連続して、4 つの側壁 1 6 b に内側から重ねられる 4 枚の内張板 2 4 b とを備える。ここでは、4 枚の内張板 2 4 b は側壁 1 6 b の内面に接着されず、内張材 2 4 は上箱体 1 3 に対して着脱自在に収容される。

[0041] 図 6 に示されるように、上箱体 1 3 は下箱体 1 2 にヒンジ 2 6 で開閉自在に連結される。ヒンジ 2 6 は、上箱体 1 3 の 1 側壁 1 6 b に内側から重ねられて固定され、複数の管体 2 7 a を有する第 1 羽根 2 7 と、下箱体 1 2 の側壁 1 4 b に内側から重ねられて固定され、第 1 羽根 2 7 の管体 2 7 a に互い違いに直列に配置される複数の管体 2 8 a を有する第 2 羽根 2 8 と、第 1 羽根 2 7 の管体 2 7 a および第 2 羽根 2 8 の管体 2 8 a に共通に挿入される 1 本のヒンジピン 2 9 とを備える。第 1 羽根 2 7 および第 2 羽根 2 8 はヒンジピン 2 9 回りで相対回転する。ヒンジピン 2 9 の中心軸は開閉時に上箱体 1 3 の回転軸線に相当する。

[0042] ヒンジ 2 6 には板ばね 3 1 が接続される。図 7 に示されるように、板ばね 3 1 は、ヒンジピン 2 9 の軸心に平行に母線を維持する湾曲体に形成される。板ばね 3 1 の両端はヒンジピン 2 9 から離れた位置で第 1 羽根 2 7 および第 2 羽根 2 8 にそれぞれ結合される。上箱体 1 3 の下端が下箱体 1 2 の上端に合わさる閉じ位置では、第 1 羽根 2 7 および第 2 羽根 2 8 は 1 つの面に沿って並んで配置され、板ばね 3 1 の中間域はヒンジピン 2 9 から内側に最も遠ざかる。上箱体 1 3 が閉じ位置から開き位置にヒンジピン 2 9 回りで変位するにつれて、第 1 羽根 2 7 および第 2 羽根 2 8 の間で外側の角度は狭まっていき、板ばね 3 1 の中間域はヒンジピン 2 9 に接近する。図 8 に示されるように、板ばね 3 1 の中間域がヒンジピン 2 9 に接触すると、下箱体 1 2 に

対してヒンジピン 29 回りに上箱体 13 の変位は規制され、上箱体 13 の開き位置が規定される。ヒンジピン 29 回りで規定の中間開度よりも開度が小さいと、板ばね 31 は閉じ位置に向かって上箱体 13 に駆動力を作用する。開度が規定の中間開度より大きいと、板ばね 31 は開き位置に向かって上箱体 13 に駆動力を作用する。ヒンジ 26 および板ばね 31 はヒンジカバー 32 で覆われる。ヒンジカバー 32 は例えば緩衝材 18 の布材 18a と同等な素材から形成される。

[0043] 上箱体 13 の化粧天板 24a には予め決められた指向性 Dv に則って紫外線を放出する LED ランプ (光源) 33 が埋め込まれる。LED ランプ 33 は、例えば長波長 UV-A (最適には 395nm~405nm の波長) の光線を放出する。望ましくは、LED ランプ 33 は可視光線以外の光線のみを放出する。望ましくは、LED ランプ 33 は狭い指向性 Dv を有する。LED ランプ 33 は、照射域全域で下箱体 12 によって遮られる指向性 Dv を有する。

[0044] LED ランプ 33 には電池 35 が接続される。電池 35 は、樹脂成形体の天板 16a と化粧天板 24a との間に区画される電池室 34 に収容される。電池 35 には例えば薄型のボタン電池が用いられればよい。ここでは、例えば複数のボタン電池が直列に接続される。LED ランプ 33 には電池 35 から電流が供給される。

[0045] ヒンジ 26 および板ばね 31 には、LED ランプ 33 に対して電流の供給および切断を制御するスイッチ 36 が組み込まれる。板ばね 31 の中間域には、板ばね 31 から電氣的に絶縁されながら第 1 接点 37 が固着される。ヒンジ 26 は、第 1 接点 37 と協働してスイッチ 36 を構成する第 2 接点として機能する。したがって、ヒンジ 26 は導電材から形成される。第 1 接点 37 は例えば銅といった導電材から形成される。第 1 接点 37 および板ばね 31 の間には例えば絶縁体が挟まれる。第 1 接点 37 は、板ばね 31 でヒンジピン 29 に向き合う面に配置される。第 1 接点 37 は、上箱体 13 の開き位置でヒンジ 26 に接触し、開き位置以外ではヒンジ 26 から離隔する。

- [0046] 図7に示されるように、フレグランスユニット62は、上板材62aの下面に下方から重ねられ上板材62aに結合される下板材62bを備える。下板材62bは、水平面68でインスタントフィルム66の下面を受け止め上板材62aとの間にインスタントフィルム66を保持する。インスタントフィルム66は上板材62aと下板材62bとの間に挟み込まれる。下板材62bは、上板材62aと同様に透明な材質で形成されてもよく、不透明な材料で形成されてもよい。下板材62bは上板材62aの輪郭に重なる輪郭を有する。
- [0047] フレグランスユニット62は、水平面68で下板材62bに受け止められる第1紙片69aおよび第2紙片69bを備える。第1紙片69aおよび第2紙片69bは上板材62aおよび下板材62bに挟み込まれる。第1紙片69aおよび第2紙片69bにはそれぞれ香水が浸透する。第1紙片69aは平面視でインスタントフィルム66から上側に外れた位置に配置される。第1紙片69aは例えば平面視の上縁に平行に帯状に延びる。平面視で第1装飾体67aは第1紙片69aに覆い被さる。第1紙片69aは第1装飾体67aで隠される。第2紙片69bは平面視でインスタントフィルム66から下側に外れた位置に配置される。第2紙片69bは例えば平面視の下縁に平行に帯状に延びる。平面視で第2装飾体67bは第2紙片69bに覆い被さる。第2紙片69bは第2装飾体67bで隠される。
- [0048] 図9に示されるように、上板材62aと下板材62bとの間には第1紙片69aおよび第2紙片69bやインスタントフィルム66の厚みに起因してわずかながら隙間71が形成される。隙間71は空間65に接続される。空間65は下板材62bに隣接する位置まで連続する。すなわち、空間65は、上板材62aの外周および下板材62bの外周に隣接し平坦面63を含む水平面で開口する。第1紙片69aや第2紙片69bの香気成分は空間65から上板材62aの上方に向かって放出されることができる。
- [0049] 図10に示されるように、上板材62aには磁石73が固定される。磁石73は例えば上板材62aの下面に埋め込まれる。平面視で第1装飾体67

aおよび第2装飾体67bは個々に対応する磁石73に覆い被さる。いずれの磁石73も第1装飾体67aまたは第2装飾体67bで隠される。いずれの磁石73も平坦面63から視覚的に認識されることはない。ここでは、例えば磁石73が透明な材質で形成されれば、第1装飾体67aおよび第2装飾体67bは省略されることができる。その他、上板材62aの下面には、透明な窓を残して不透明な装飾が施されてもよい。装飾の適用にあたってプリントや蒸着が用いられることができる。窓は例えばインスタントフィルム66の画像の輪郭を象ることができる。画像は窓から観察されることができる。窓の周囲で透過は遮られる。磁石73は隠されることができる。

[0050] 下板材62bには、磁石73の磁力に基づき磁石73に固着される第1磁性体74が固定される。第1磁性体74は例えば下板材62bの上面に埋め込まれる。第1磁性体74は、下板材62bに上板材62aが重ね合わせられる際に磁石73に重なる輪郭を有すればよい。磁力の働きで上板材62aの下面に下板材62bは固定される。上板材62aと、上板材62aに重ねられる下板材62bとの間にインスタントフィルム66は挟み込まれる。第1磁性体74に代えて磁石が用いられてもよい。このとき、下板材62bの磁石は上板材62aの磁石73と逆の磁極で磁石73に向き合わせられればよい。上板材62aと下板材62bとでは磁石73および第1磁性体74は入れ替えられてもよい。

[0051] 上箱体13には第2磁性体75が固定される。第2磁性体75は個々の第1磁性体74の下方に配置される。磁石73の磁力は第1磁性体74を経て第2磁性体75に作用する。こうして磁力の働きで上板材62aおよび下板材62bは窪み61内に固定されることができる。ここでは、第2磁性体75に代えて磁石が用いられてもよい。このとき、上箱体13の磁石は下板材62bの磁石と逆の磁極で磁石に向き合わせられればよい。

[0052] 図11に示されるように、内箱11では、LEDランプ33、電池35およびスイッチ36を含む第1具体例に係る光照射回路38が構築される。光照射回路38では電池35に直列にLEDランプ33のLED素子が接続さ

れる。LEDランプ33には直列にタイマー限時ノーマリーオープン接点（以下「タイマー接点」）39が接続される。LEDランプ33およびタイマー接点39には並列にスイッチ36およびタイマー41が接続される。スイッチ36が導通すると、タイマー41が動作し、予め決められた時間（以下「第1時間」という）の経過後にタイマー接点39が閉じる。その結果、LEDランプ33は通電する。スイッチ36が開くと、タイマー41は復帰し、タイマー接点39が開放される。その結果、LEDランプ33は消える。

[0053] 図12に示されるように、内箱11には録音された音声を再生する音声再生ユニット45が組み込まれる。音声再生ユニット45は、マイクロホン46から音声信号を取得し、スピーカー47に音声信号を供給する音声回路48を備える。音声回路48には電池35が接続される。音声回路48は電池35の電圧を受けて動作する。

[0054] マイクロホン46は音声に基づく空気の振動を検出し音声信号（電気信号）に変換する。生成された音声信号は例えばメモリー49に記録される。メモリー49には例えばEEPROMが用いられることができる。メモリー49は、一度だけ音声信号の書き込みを許容するメモリーであるとよい。マイクロホン46は上箱体13または下箱体12に支持される。ここでは、例えば天板16aと化粧天板24aとの間に区画される空間にマイクロホン46は収容される。天板16aや化粧天板24aには、マイクロホン46の位置に対応して配置されマイクロホン46に外気を接続する通孔が形成されてもよい。

[0055] スピーカー47は音声信号に基づき空気の振動を生成し対応する音声を再生する。再生された音声は観察者の聴覚を刺激する。こうして観察者は音声を聞き取ることができる。スピーカー47は上箱体13または下箱体12に支持される。ここでは、例えば天板16aと化粧天板24aとの間に区画される空間にスピーカー47は収容される。天板16aや化粧天板24aには、スピーカー47の位置に対応して配置されスピーカー47に外気を接続する通孔が形成されてもよい。

- [0056] 音声再生ユニット４５には、紫外線の照射の開始から予め決められた時間（以下「第２時間」という）が経過するまで音声の再生を保留する保留回路５１が接続される。保留回路５１は音声回路４８にスイッチ３６を接続する。音声回路４８と光照射回路３８とで電池３５およびスイッチ３６は共通化される。保留回路５１はスイッチ３６の導通から（第１時間＋第２時間）を計時する。ここでは、紫外線の照射が開始されてから予め決められた第２時間が経過すると、音声回路４８は音声信号をメモリー４９から取り出しスピーカー４７に供給する。
- [0057] 音声回路４８には録音スイッチ５２が接続される。録音スイッチ５２が導通すると、音声回路４８はマイクロホン４６から音声信号を取得しメモリー４９にその音声信号を格納する。図１３に示されるように、録音スイッチ５２のボタンは上箱体１３の内壁面に設置されることができる。ここでは、ボタンが押され続ける限り、録音スイッチ５２は導通する。ボタンが押し操作から解放されると、録音スイッチ５２は切断される。ボタンが上箱体１３の内側に配置されることで、上箱体１３が閉じ位置に位置するだけで録音スイッチ５２は誤操作から保護されることができる。上箱体１３は、内箱１１の構成体以外の物体から録音スイッチ５２を保護する防護体として機能する。こうして、意図しない音声の録音（上書きに基づく音声の消去）は防止されることができる。その他、録音スイッチ５２はスイッチ３６の導通と連動してもよい。その結果、上箱体１３が開き位置に達した状態で録音スイッチ５２が操作されると、音声はメモリー４９に録音されることができる。
- [0058] ＬＥＤランプ３３、タイマー接点３９、タイマー４１、音声回路４８、メモリー４９および保留回路５１は例えば共通のプリント基板上に実装されてもよい。スイッチ３６の第１接点３７やヒンジ２６の第１羽根２７または第２羽根２８、電池３５、マイクロホン４６、スピーカー４７などは例えばビニル被膜線といった電線でプリント基板上の配線パターンに電氣的に接続されればよい。プリント基板は例えば電池室３４に収容されればよい。
- [0059] 次に内箱１１の作用を説明する。図３に示されるように、上箱体１３が閉

じ位置に位置すると、上箱体 1 3 の下縁は下箱体 1 2 の上縁に合わさる。上箱体 1 3 は指輪 2 1 に覆い被さってダイヤモンド粒 2 3 を隠す。内箱 1 1 の観察者は閉じた内箱 1 1 の外観を視認する。ダイヤモンド粒 2 3 は観察者の視界から外れる。

[0060] このとき、図 7 に示されるように、板ばね 3 1 の中間域はヒンジピン 2 9 から最も遠ざかる。したがって、スイッチ 3 6 の第 1 接点 3 7 はヒンジ 2 6 すなわち第 2 接点から離れる。スイッチ 3 6 は切断される。LED ランプ 3 3 は消灯状態に維持される。音声回路 4 8 の動作は停止状態に維持される。

[0061] 観察者が板ばね 3 1 の弾性力に抗してヒンジピン 2 9 回りで開き位置に向かって上箱体 1 3 を動かすと、上箱体 1 3 の下端は下箱体 1 2 の上端から離れていく。上箱体 1 3 および下箱体 1 2 の隙間からダイヤモンド粒 2 3 に向かって可視光線は差し込む。ダイヤモンド粒 2 3 は徐々に露出していく。ダイヤモンド粒 2 3 は可視光線の照射に曝される。したがって、ダイヤモンド粒 2 3 は透明な輝きを放つ。

[0062] 上箱体 1 3 の開度が規定の中間開度よりも増大すると、板ばね 3 1 は開き位置に向かって上箱体 1 3 を駆動する。その結果、上箱体 1 3 は最大開度の開き位置に到達する。板ばね 3 1 の弾性力に応じて上箱体 1 3 は最大開度の開き位置に保持される。上箱体 1 3 の平坦面 6 3 は回転軸線から遠ざかるほど高い位置に位置する。図 5 に示されるように、上箱体 1 3 に遮られずに観察者はダイヤモンド粒 2 3 を視認することができる。ダイヤモンド粒 2 3 は可視光（自然光や電灯の光）の下で透明な輝きを放つ。

[0063] 上箱体 1 3 が開き位置に到達すると、図 8 に示されるように、板ばね 3 1 の弾性力を受けて板ばね 3 1 の中間域はヒンジピン 2 9 に押し当てられる。こうして第 1 接点 3 7 はヒンジ 2 6 すなわち第 2 接点に接触する。スイッチ 3 6 は導通する。スイッチ 3 6 の導通（オン動作）から第 1 時間が経過すると、LED ランプ 3 3 は点灯する。LED ランプ 3 3 はダイヤモンド粒 2 3 に紫外線を照射し始める。ダイヤモンド粒 2 3 は青色に輝く。

[0064] 上箱体 1 3 の開放後しばし透明に輝くダイヤモンド粒 2 3 が観察された後

に、ダイヤモンド粒２３は透明から青色に変色する。こうして上箱体１３の開放動作に応じて光の演出効果は作り出される。板ばね３１は、開き位置に上箱体１３を位置させる駆動力を発揮するので、閉じ位置および開き位置の中間位置でダイヤモンド粒２３が変色し始めることは防止され、観察者は確実にダイヤモンド粒２３の変色を目撃することができる。

[0065] 紫外線の照射開始から第２時間が経過すると、音声回路４８は録音された音声を再生する。例えばプレゼントであれば、観察者には贈り主の音声（例えば「結婚してください」とか「これからいっしょにしよう」とか）が届けられることができる。音声の再生はダイヤモンド粒２３の視覚効果から遅延することから、ダイヤモンド粒２３の視覚効果および音声の演出効果は順番に観察者に作用する。観察者はダイヤモンド粒２３の視覚効果を意識した後、音声の聴覚効果（言語処理を含む）を意識することができる。音声の演出効果は視覚効果に上積みされる。本発明者の気づきによれば、ひとは同時に複数の感覚を意識することができないことから、音声の演出効果が視覚効果と同時に進行する場合に比べて、音声の再生が視覚効果からずれることで視覚および音声の相乗効果は強められることができる。この演出効果で内箱１１の観察者は他では味わえない感動を体験することができる。

[0066] スイッチ３６が切断されると、ＬＥＤランプ３３は消える。音声回路４８は音声信号の供給を終了する。音声の再生は終了する。

[0067] プレゼントに先立って贈り主の音声は予め内箱１１に録音される。録音にあたって上箱体１３は開き位置に位置づけられる。贈り主は録音スイッチ５２を押しながらマイクロホン４６に向かって音声（例えば「結婚してください」とか「これからいっしょにしよう」とか）を発する。録音スイッチ５２の導通に応じて音声回路４８は動作する。音声はマイクロホン４６で音声信号に変換される。音声信号はメモリー４９に格納される。録音スイッチ５２のボタンから指が離れると、音声の録音は終了する。

[0068] ここでは、緩衝材１８の布材１８ａは黒色や濃紺色といった色に着色されるとよい。こうした着色によれば、ＬＥＤランプ３３の光線に紫外線域に隣

接する可視光線が微妙に混入しても布材 18 a に照らされる可視光線は目立たない。LED ランプ 33 の光線は観察者の視覚から除外されることができる。

[0069] 例えば男性と女性とがジュエリーの購入にあたってジュエリーショップを訪れる場面を想定する。ジュエリーショップの店内はそのジュエリーショップやブランドに固有の香りで満たされる。内箱 11 の第 1 紙片 69 a および第 2 紙片 69 b には店内の香りを感じさせる香気成分が浸透する。こうしてジュエリーショップの店内の香りは内箱 11 に関連づけられる。ジュエリーショップで指輪 21 が購入されると、購入の場面は香りに紐付けられることができる。香りは男性および女性の記憶に強く残る。

[0070] 内箱 11 が外箱 102 から取り出されると、内箱 11 の周囲にはジュエリーショップの香りが漂う。第 1 紙片 69 a および第 2 紙片 69 b の香気成分は隙間 71 から空間 65 に漏れ出る。漏れ出た香気成分は空間 65 から上箱体 13 の上方に向かって放散される。女性は内箱 11 を取り出すたびに香りを楽しむことができる。女性がプレゼントとして指輪 21 を受け取ったのであれば、女性は、自宅で内箱 11 に近づくたびに、プレゼントを受け取った際の喜びを思い出す。内箱 11 はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すきっかけを作り出すことができる。男性の印象は女性に強く植え付けられることができる。

[0071] 内箱 11 は香りの放出源として室内に飾られることができる。女性は室内で頻繁に内箱 11 を目にすることができる。こうして頻繁に女性はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すことができる。男性の印象は強く女性に刷り込まれることができる。

[0072] 囲み 64 の働きで上箱体 13 の上面にはトレイが形成されることができる。上板材 62 a 上に指輪 21 やキーホルダーなどの小物は置かれることができる。囲み 64 の働きで小物は上板材 62 a 上に保持されることができる。こうしたトレイは日常的に利用されることから、女性は頻繁に内箱 11 を目にすることができる。プレゼントを受け取った際の感情は女性の記憶に強く

刷り込まれることができる。内箱 1 1 の観察者には指輪 2 1 やブランド、購入時のジュエリーショップの印象が強く植え付けられることができる。

[0073] 磁石 7 3 の磁力で下板材 6 2 b は上板材 6 2 a に固着される。上板材 6 2 a と下板材 6 2 b との間に香気成分を含有する第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b は挟み込まれる。空間 6 5 から上板材 6 2 a および下板材 6 2 b の外周にアクセスは許容されることができる。上板材 6 2 a および下板材 6 2 b の外周に外力を作用させることで上板材 6 2 a および下板材 6 2 b は簡単に窪み 6 1 から引き上げられることができる。フレグランスユニット 6 2 は簡単に上箱体 1 3 から取り外されることができる。このとき、磁力に抗して下板材 6 2 b は上板材 6 2 a から分離されることができるので、第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b には香気成分が補充されることができる。あるいは、第 1 紙片 6 9 a や第 2 紙片 6 9 b は十分に香気成分を含有するものに交換されてもよい。こうして女性はいつまでも内箱 1 1 から香りを楽しむことができる。ジュエリーショップは第 1 紙片 6 9 a や第 2 紙片 6 9 b に専用の紙片を販売することで収益増を目論むことができる。上板材 6 2 a と下板材 6 2 b とでは磁石および磁性体は相互に入れ替えられてもよい。空間 6 5 は上板材 6 2 a および下板材 6 2 b の左縁や右縁に沿って細く延びて例えば指輪 2 1 の差し込みを受け入れる大きさに形成されることができる。この場合には、フレグランスユニット 6 2 の取り外しにあたって空間 6 5 には硬質体の工具が差し込まれればよい。空間 6 5 は指先が下板材 6 2 b に届く大きさに形成されてもよい。

[0074] 磁石 7 3 の働きでフレグランスユニット 6 2 は窪み 6 1 に固定される。磁石 7 3 の磁力線は第 1 磁性体 7 4 および第 2 磁性体 7 5 を流通することができる。フレグランスユニット 6 2 は上箱体 1 3 の開閉に拘わらず窪み 6 1 内に良好に保持されることができる。

[0075] 例えばジュエリーショップでは購入の場面がインスタントカメラで撮像されることができる。インスタントフィルム 6 6 には購入の場面がその場で現像されることができる。上板材 6 2 a および下板材 6 2 b は窪み 6 1 内にイ

ンスタントフィルム66を保持する役割を果たす。こうして写真は簡単に内箱11に取り付けられることができる。観察者は透明な上板材62aを透かしてインスタントフィルム66の画像を楽しむことができる。画像は、プレゼントを受け取った際の感情をさらに強める役割を果たすことができる。

[0076] 本実施形態に係る内箱11は、透明から青色蛍光にダイヤモンド粒23の変色を演出する。指輪21の所有者はダイヤモンド粒23の変色を楽しむ際に内箱11を利用する。こうして内箱11は指輪21といっしょに所有され続ける。内箱11が取り出される機会は増加する。インスタントフィルム66の画像を目にする機会は増加する。一般の商品では、その商品が利用され始めるとしばしば包装箱は捨てられてしまう。

[0077] 同様に、本実施形態に係る内箱11は、録音された音声を再生する。こうして音声の演出効果は実現されることから、指輪21の所有者は内箱11を捨てずに保持し音声の演出効果を楽しむ。こうして内箱11は指輪21といっしょに所有され続ける。内箱11が取り出される機会はさらに増加する。インスタントフィルム66の画像を目にする機会はさらに増加する。

[0078] 図14は第2具体例に係るフレグランスユニット77の構造を概略的に示す。板材78は、窪み61の輪郭に合わせこまれて窪み61内に固定される。インスタントフィルム66並びに第1紙片69aおよび第2紙片69bは窪み61の底に規定される水平面68に重ねられる。板材78は水平面68に重ねられてインスタントフィルム66並びに第1紙片69aおよび第2紙片69bに覆い被さる。板材78は例えば平面視の上縁および下縁で窪み61の内壁面に接触する。板材78は例えば透明な硬質の亚克力板から構成されることができる。板材78の表面は平坦面63を区画する。平坦面63上の空間は囲み64で囲まれる。囲み64は、窪み61の輪郭に合わせて平坦面63を含む水平面から起立する壁面64aを有する。輪郭の辺ごとに壁面64aは1鉛直面内で窪み61の内壁面から連続する。壁面64aは鉛直方向に板材78の下降を案内することができる。こうして板材78および囲み64は上箱体13の上面に協働でトレイを形成する。窪み61は、前述と

同様に、板材 7 8 の外周に隣接し平坦面 6 3 を含む水平面で開口する空間 6 5 を区画する。空間 6 5 は平面視の左縁および右縁の外側に配置される。

[0079] 上箱体 1 3 には磁性体 7 9 が固定される。磁性体 7 9 は個々の磁石 7 3 の下方に配置される。磁石 7 3 の磁力は磁性体 7 9 に作用する。こうして磁力の働きで板材 7 8 は窪み 6 1 内に固定されることが出来る。ここでは、下板材 6 2 b は省略されることが出来る。上板材 6 2 a と水平面 6 8 との間にはインスタントフィルム 6 6 並びに第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b の厚みに応じて隙間が形成される。隙間は空間 6 5 に接続される。磁性体 7 9 に代えて磁石が用いられてもよい。このとき、上箱体 1 3 の磁石は上板材 6 2 a の磁石 7 3 と逆の磁極で磁石 7 3 に向き合わせられればよい。

[0080] 図 1 5 は第 3 具体例に係るフレグランスユニット 8 2 の構造を概略的に示す。上板材 6 2 a および下板材 6 2 b は面接触で重ね合わせられる。インスタントフィルム 6 6 並びに第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b は上板材 6 2 a または下板材 6 2 b のいずれかに形成される凹み 8 3 に配置される。下板材 6 2 b には、第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b にそれぞれ対応する位置に開口 8 4 が形成される。開口 8 4 は鉛直方向に下板材 6 2 b を貫通する。第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b はそれぞれ対応する開口 8 4 に露出する。個々の開口 8 4 は、下板材 6 2 b の下面に接する窪み内空間 8 5 に接続される。上箱体 1 3 の第 2 磁性体 7 5 は鉛直方向に窪み 6 1 の底から離れた位置に下板材 6 2 b を保持することが出来る。第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b の香気成分は開口 8 4 から窪み内空間 8 5 に漏れ出ることが出来る。漏れ出た香気成分は空間 6 5 から上箱体 1 3 の上方に向かって放出されることが出来る。

[0081] ここでは、図 1 6 に示されるように、前述と同様に上板材 6 2 a と下板材 6 2 b との間には第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b やインスタントフィルム 6 6 の厚みに応じて隙間 7 1 が形成されてもよい。第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b の香気成分は、開口 8 4 および窪み内空間 8 5 からだけでなく隙間 7 1 から空間 6 5 に漏れ出ることが出来る。香りの放出は強めら

ることができる。上箱体 13 の第 2 磁性体 75 は、例えば窪み 61 の輪郭まで広がるステンレス鋼板から構成されることができる。第 2 磁性体 75 の上面は、窪み 61 の輪郭まで途切れなく広がる貼り紙 17 で覆われる。下板材 62b には水平方向に開口 84 から外れた位置で磁石 87 が固定される。磁石 87 は第 2 磁性体 75 に固着される。磁石 87 は上箱体 13 にフレグランスユニット 82 を固定する。第 2 磁性体 75 に代わって磁石 87 は鉛直方向に窪み 61 の底から離れた位置に下板材 62b を保持することができる。

[0082] 図 17 は第 4 具体例に係るフレグランスユニット 88 の構造を概略的に示す。上板材 62a は貫通口 89 を区画する。貫通口 89 は上板材 62a の上面で開口する。貫通口 89 の下端は、第 1 紙片 69a または第 2 紙片 69b の輪郭よりも内側で第 1 紙片 69a または第 2 紙片 69b に重なる。第 1 紙片 69a および第 2 紙片 69b の香気成分は貫通口 89 から上板材 62a の上方に向かって放散されることができる。内箱 11 の周囲には香りが漂う。

[0083] ここで、上板材 62a の貫通口 89 は第 1 紙片 69a または第 2 紙片 69b の輪郭よりも内側で第 1 紙片 69a または第 2 紙片 69b に重なることから、上板材 62a は貫通口 89 の輪郭全域にわたって水平面 68 に第 1 紙片 69a および第 2 紙片 69b を押さえつけることができる。したがって、貫通口 89 の内側で第 1 紙片 69a および第 2 紙片 69b の波打ちは防止されることができる。平面の第 1 紙片 69a および第 2 紙片 69b で水平面 68 に美観は施されることができる。第 1 紙片 69a および第 2 紙片 69b は隙間なく貫通口 89 を塞ぐので、第 1 紙片 69a および第 2 紙片 69b の香気成分は効率的に貫通口 89 から上方に漂うことができる。隙間が生じると、香気成分は隙間から貫通口 89 以外に漏れ出てしまう。

[0084] 図 18 に示されるように、上板材 62a には、上板材 62a の下面から突出して水平面 68 上の第 1 紙片 69a および第 2 紙片 69b に食い込む突片 91 が形成されてもよい。突片 91 は例えば貫通口 89 の輪郭に沿って全周にわたって連続する。上板材 62a が水平面 68 に第 1 紙片 69a や第 2 紙片 69b を押さえつける際に、突片 91 には押し当ての圧力が集中すること

ができる。その結果、突片 9 1 は第 1 紙片 6 9 a や第 2 紙片 6 9 b に食い込むことができる。第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b は強い圧力で上板材 6 2 a と下板材 6 2 b（水平面 6 8）との間に挟まれることができる。水平方向に第 1 紙片 6 9 a や第 2 紙片 6 9 b の移動は防止されることができる。第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b は良好に保持されることができる。貫通口 8 9 の内側で第 1 紙片 6 9 a および第 2 紙片 6 9 b の波打ちは防止されることができる。その他、上板材 6 2 a には貫通口 8 9 から離れた位置で突片 9 2 が形成されてもよい。突片 9 2 は水平方向に第 1 紙片 6 9 a や第 2 紙片 6 9 b の移動の防止に大いに役立つことができる。突片 9 1、9 2 は例えば上板材 6 2 a に一体に成型されることができる。

[0085] 図 1 9 は第 2 具体例に係る光照射回路の構成を概略的に示す。光照射回路 4 3 は、電池 3 5 に接続される NPN トランジスタ T R 1 を備える。電池 3 5 のプラス端子と NPN トランジスタ T R 1 のコレクター C との間に LED ランプ 3 3 の LED 素子は接続される。電池 3 5 のプラス端子と NPN トランジスタ T R 1 のベース B との間にはスイッチ 3 6 および第 1 抵抗 R 1 が直列に接続される。NPN トランジスタ T R 1 のベース B と電池 3 5 のマイナス端子との間にはキャパシター C 1 が接続される。第 1 抵抗 R 1 およびキャパシター C 1 と並列に第 2 抵抗 R 2 は接続される。NPN トランジスタ T R 1 のエミッター E は電池 3 5 のマイナス端子に接続される。この光照射回路 4 3 では、スイッチ 3 6 が導通すると、時定数回路 R 1、C 1 の働きで NPN トランジスタ T R 1 のベース B に印加される電圧は徐々に上昇する。電圧の上昇中に NPN トランジスタ T R 1 のベース B で電圧が規定値に達すると、コレクター C に電流は流入する。その後、規定の時間が経過すると、NPN トランジスタ T R 1 のベース B に印加される電圧は一定に維持される。スイッチ 3 6 が切断されると、キャパシター C 1 の電荷は第 2 抵抗 R 2 を通じて放電される。

[0086] 音声再生ユニット 4 5 の保留回路 5 1 は、紫外線が最大光量に達した後に予め決められた時間（以下「第 3 時間」という）が経過するまで音声の再生

を保留する。音声回路４８と光照射回路４３とで電池３５およびスイッチ３６は共通化される。保留回路５１は、スイッチ３６の導通から紫外線が最大光量に達する時間（以下「漸増時間」という）、および、第３時間を計時する。漸増時間は光照射回路４３の電圧特性で特定されることができる。漸増時間は、スイッチ３６の導通から、ＮＰＮトランジスターＴＲ１のベースＢに印加される電圧が最大値で維持され始める時間に相当する。ここでは、紫外線が最大光量に達した時点から予め決められた第３時間が経過すると、音声回路４８は音声信号をメモリー４９から取り出しスピーカー４７に供給する。

[0087] ＬＥＤランプ３３、ＮＰＮトランジスターＴＲ１、キャパシターＣ１、第１および第２抵抗Ｒ１、Ｒ２、音声回路４８、メモリー４９および保留回路５１は例えば共通のプリント基板上に実装されてもよい。スイッチ３６の第１接点３７やヒンジ２６の第１羽根２７または第２羽根２８、電池３５、マイクロホン４６、スピーカー４７などは例えばビニル被膜線といった電線でプリント基板上の配線パターンに電気的に接続されればよい。プリント基板は例えば電池室３４に収容されればよい。

[0088] 第２具体例に係る光照射回路４３では、上箱体１３が開き位置に到達してスイッチ３６が導通してから、スイッチ３６の導通（オン動作）後、第１時間の経過を待って電池３５からＮＰＮトランジスターＴＲ１のベースＢに規定値の電圧が印加される。ＮＰＮトランジスターＴＲ１のコレクターＣに電流が流入し、ＬＥＤランプ３３は点灯し始める。したがって、内箱１１の観察者は、上箱体１３の開放後しばし透明に輝くダイヤモンド粒２３を観察することができる。

[0089] 時定数回路Ｒ１、Ｃ１の働きでＮＰＮトランジスターＴＲ１のベースＢに印加される電圧は徐々に上昇する。ＬＥＤランプ３３に流通する電流量は徐々に増加していく。ＬＥＤランプ３３からダイヤモンド粒２３に照射される紫外線の光量は増加していく。ダイヤモンド粒２３は徐々に透明から青色に変色していく。こうして上箱体１３の開放動作に応じて光の演出効果は作り

出される。板ばね 31 は、開き位置に上箱体 13 を位置させる駆動力を発揮するので、閉じ位置および開き位置の中間位置でダイヤモンド粒 23 が変色し始めることは防止され、観察者は確実にダイヤモンド粒 23 の変色を目撃することができる。

[0090] 紫外線の照射開始から第 2 時間が経過すると、すなわち、ダイヤモンド粒 23 が最大限に青く輝き始めてから第 3 時間が経過すると、音声回路 48 は録音された音声を再生する。例えばプレゼントであれば、観察者には贈り主の音声（例えば「結婚してください」とか「これからいっしょにしよう」とか）が届けられることができる。音声の再生はダイヤモンド粒 23 の視覚効果から遅延することから、ダイヤモンド粒 23 の視覚効果および音声の演出効果は順番に観察者に作用する。観察者はダイヤモンド粒 23 の視覚効果を意識した後に音声の聴覚効果（言語処理を含む）を意識することができる。音声の演出効果は視覚効果に上積みされる。本発明者の気づきによれば、ひとは同時に複数の感覚を意識することができないことから、音声の演出効果が視覚効果と同時に進行する場合に比べて、音声の再生が視覚効果からずれることで視覚および音声の相乗効果は強められることができる。この演出効果で内箱 11 の観察者は他では味わえない感動を体験することができる。

[0091] スイッチ 36 が切断されると、LED ランプ 33 は消える。音声回路 48 は音声信号の供給を終了する。音声の再生は終了する。キャパシター C1 の電荷は第 2 抵抗 R2 を通じて放電される。

[0092] 図 20 は本発明の第 2 実施形態に係るフレグランスユニット 111 の構成を概略的に示す。フレグランスユニット 111 は、窪み 61 の輪郭に合わせこまれて窪み 61 内に固定される板材 111a を備える。板材 111a は、窪み 61 内に配置されるインスタントフィルム 66 に覆い被さる。板材 111a の下面はインスタントフィルム 66 の上面に重ねられる。平面視でインスタントフィルム 66 の全体は板材 111a 下に配置される。ここでは、板材 111a の表面に、少なくともインスタントフィルム 66 の縁を覆い隠す不透明膜 112 が形成される。不透明膜 112 は、例えば、インスタントフ

フィルム 6 6 の画像を披露する窓 1 1 3 を囲みながら、全周にわたって板材 1 1 1 a の外縁まで広がる。したがって、板材 1 1 1 a は、窓 1 1 3 に対応して、少なくともインスタントフィルム 6 6 の画像を覆う透明域を形成する。観察者は透明域からインスタントフィルム 6 6 の画像を観察することができる。不透明膜 1 1 3 は例えば着色された塗装膜で構成されることができる。

[0093] 図 2 1 に示されるように、板材 1 1 1 a は、裏面に、インスタントフィルム 6 6 を受け止める第 1 平面（受け平面） 1 1 4 と、紙片 1 1 5 を受け止める第 2 平面（平面） 1 1 6 とを規定する。第 2 平面 1 1 6 は第 1 平面 1 1 4 に重ならず配置される。第 2 平面 1 1 6 は第 1 平面 1 1 4 から分離される。

[0094] フレグランスユニット 1 1 1 は、板材 1 1 1 a に取り付けられて、第 1 平面 1 1 4 に倣ってインスタントフィルム 6 6 を保持する第 1 保持体 1 1 7 を備える。第 1 保持体 1 1 7 は、第 1 平面 1 1 4 の両側で平行に延びる 1 対の第 1 レール 1 1 8 に案内されて、第 1 平面 1 1 4 に倣ってインスタントフィルム 6 6 を保持する第 1 位置、および、第 1 平面 1 1 4 から離脱する第 2 位置の間で変位するスライダーである。したがって、第 1 保持体 1 1 7 は板材 1 1 1 a に着脱自在に取り付けられる。

[0095] 第 1 レール 1 1 8 は壁面 6 4 a に平行に線形に延びる。第 1 レール 1 1 8 同士の間で板材 1 1 1 a の裏面には第 1 平滑面 1 1 9 が規定される。第 1 レール 1 1 8 は第 1 平滑面 1 1 9 に接する案内路を区画する。案内路の区画にあたって第 1 レール 1 1 8 は第 1 平滑面 1 1 9 との間に第 1 保持体 1 1 7 を受け入れる規制縁 1 1 8 a を形成する。規制縁 1 1 8 a は案内路に沿って第 1 保持体 1 1 7 の水平移動を許容しつつ水平移動以外で第 1 平面 1 1 4 から第 1 保持体 1 1 7 の離脱を規制する。ここでは、第 1 平面 1 1 4 は、第 1 平滑面 1 1 9 に穿たれる窪み 1 2 1 の内面に規定される。窪み 1 2 1 は、第 1 位置で第 1 平滑面 1 1 9 に重なる第 1 保持体 1 1 7 に塞がれ、第 1 保持体 1 1 7 と第 1 平面 1 1 4 との間にインスタントフィルム 6 6 を収容する写真室を区画する。窪み 1 2 1 の輪郭はインスタントフィルム 6 6 の輪郭に合わせ

込まればよい。

- [0096] 第1保持体（スライダー）117は第1位置で案内路全体を塞ぐ平板に形成される。平板の上縁は上側の第1レール118の規制縁118aに係り合う。平板の下縁は下側の第1レール118の規制縁118aに係り合う。第1保持体（スライダー）117は例えば硬質なアクリル樹脂で成型されることができる。第1保持体117は通気を遮断する材質（非通気性の材質）で形成される。
- [0097] フレグランスユニット111は、板材111aに取り付けられて、第2平面116に倣って紙片115を保持する第2保持体122を備える。第2保持体122は、第2平面116の両側で平行に延びる1対の第2レール123に案内されて、第2平面116に倣って紙片115を保持する第1位置、および、第2平面116から離脱する第2位置の間で変位するスライダーである。したがって、第2保持体122は板材111aに着脱自在に取り付けられる。
- [0098] 第2レール123は壁面64aに平行に線形に延びる。第2レール123同士の間で板材111aの裏面には第2平滑面124が規定される。第2レール123は第2平滑面124に接する案内路を区画する。案内路の区画にあたって第2レール123は第2平滑面124との間に第2保持体122を受け入れる規制縁123aを形成する。規制縁123aは案内路に沿って第2保持体122の水平移動を許容しつつ水平移動以外で第2平面116から第2保持体122の離脱を規制する。ここでは、第2平面116は、第2平滑面124に穿たれる窪み125の内面に規定される。窪み125は、第1位置で第2平滑面124に重なる第2保持体122に塞がれ、第2保持体122と第2平面116との間に紙片115を収容する紙片室を区画する。
- [0099] 第2保持体（スライダー）122は第1位置で案内路全体を塞ぐ平板に形成される。平板の上縁は上側の第2レール123の規制縁123aに係り合う。平板の下縁は下側の第2レール123の規制縁123aに係り合う。第2保持体（スライダー）122は例えば硬質なアクリル樹脂で成型されるこ

とができる。第2保持体122は通気を遮断する材質（非通気性の材質）で形成される。

[0100] 紙片115は香気成分を含有する。紙片115は壁面64aに並列に長尺に形成される。窪み125の輪郭は紙片115の輪郭に合わせて設定されればよい。紙片115は香気成分の溶媒を保持する吸収力を有する。紙片115には例えば香水が染み込むことができる。紙片115には例えば香気成分の吸収に応じて変色する紙材料が用いられてもよい。例えばリトマス紙は香気成分の吸収に応じて変化するpHに応じて変色することができる。

[0101] 図22に示されるように、板材111aの裏面には、第1レール118や第2レール123で区画される案内路からずれた位置で磁石126が固定される。フレグランスユニット111が窪み61内の水平面127に受け止められる際に磁石126は水平面127に面接触する。ここでは、水平面127の確立にあたって上箱体13には磁性体128が組み込まれる。磁性体128は例えば窪み61の底面を形成する薄板で構成される。薄板は例えばステンレス鋼板であればよい。磁性体128は水平面127で磁石126の引力を受ける。こうして磁石126の磁力は磁性体128にフレグランスユニット111を結合する。磁石126は決められた高さで板材111aの裏面を含む1平面から突出する。磁石126は第2保持体122と水平面127との間に間隔Hsを形成する。間隔Hsは板材111aの外周で空間65に接続される。

[0102] 第2保持体122は、空間65に紙片室を接続する通路を区画する。通路の区画にあたって、第2保持体122には、一端で紙片115に向き合って他端で第2保持体122および水平面127の間隔Hsに開口する貫通口129が形成される。紙片115の香気成分は貫通口129から間隔Hsに流出することができる。香気成分は間隔Hsから空間65に漏れ出る。香気成分は空間65から大気に放散される。

[0103] その他、図23に示されるように、第1平面114および第2平面116は板材111aの裏面に面一に形成されてもよい。ここでは、第1平滑面1

19内に第1平面114は含まれる。第1平面114に重なる位置で第1保持体117には窪み121が穿たれる。第1保持体117の第1位置で第1平滑面119（第1平面114）は窪み121を塞ぐ。こうして第1保持体117と第1平面114との間にインスタントフィルム66を収容する写真室が区画される。同様に、第2平滑面124内に第2平面116は含まれる。第2平面116に重なる位置で第2保持体122には窪み125が穿たれる。第2保持体122の第1位置で第2平滑面124（第2平面116）は窪み125を塞ぐ。こうして第2保持体122と第2平面116との間に紙片115を収容する紙片室が区画される。同様に、第2保持体122は、外空間に紙片室を接続する貫通口129を有する。紙片115の香気成分は貫通口129から外空間に放散されることができる。第2保持体122および水平面127の間隔Hsは大気に貫通口129を接続する。

[0104] 内箱11が外箱102から取り出されると、内箱11の周囲にはジュエリーショップの香りが漂う。図24に示されるように、紙片115の香気成分は貫通口129から第2保持体122および水平面127の間隔Hsに流出し間隔Hsから空間65に漏れ出る。漏れ出た香気成分は空間65から上箱体13の上方に向かって放散される。女性は内箱11を取り出すたびに香りを楽しむことができる。女性がプレゼントとして指輪21を受け取ったのであれば、女性は、自宅で内箱11に近づくたびに、プレゼントを受け取った際の喜びを思い出す。内箱11はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すきっかけを作り出すことができる。男性の印象は女性に強く植え付けられることができる。

[0105] 内箱11は香りの放出源として室内に飾られることができる。女性は室内で頻繁に内箱11を目にすることができる。こうして頻繁に女性はプレゼントを受け取った際の喜びを思い出すことができる。男性の印象は強く女性に刷り込まれることができる。

[0106] 囲み64の働きの上箱体13の上面にはトレイが形成されることができる。板材111a上に指輪21やキーホルダーなどの小物は置かれることがで

きる。囲み64の働きで小物は板材111a上に保持されることができる。こうしたトレイは日常的に利用されることから、女性は頻繁に内箱11を目にすることができる。プレゼントを受け取った際の感情は女性の記憶に強く刷り込まれることができる。内箱11の観察者には指輪21やブランド、購入時のジュエリーショップの印象が強く植え付けられることができる。特に、トレイが男女（夫婦）で共用されれば、インスタントフィルム66の画像をきっかけに個々にプレゼント時の感情は呼び起こされることができる。インスタントフィルム66の画像は仲むつまじい関係の維持に貢献することができる。

[0107] 磁石126の磁力で板材111aは磁性体128に固着される。空間65から板材111aの外周にアクセスは許容されることができる。板材111aの外周に外力を作用させることで板材111aは簡単に窪み61から引き上げられることができる。フレグランスユニット111は簡単に上箱体13から取り外されることができる。前述のように、紙片115はフレグランスユニット111から取り出されることができるので、紙片115には香気成分が補充されることができる。あるいは、紙片115は十分に香気成分を含有するものに交換されてもよい。こうして女性はいつまでも内箱11から香りを楽しむことができる。空間65は板材111aの左縁や右縁に沿って細く延びて例えば指輪21の差し込みを受け入れる大きさに形成されることができる。この場合には、フレグランスユニット111の取り外しにあたって空間65には硬質体の工具が差し込まればよい。空間65は指先が水平面127に届く大きさに形成されてもよい。

[0108] 図25に示されるように、フレグランスユニット111の組み込みにあたって、板材111aには、紙片室から延びて板材111aの表面に開口する貫通口131が形成されてもよい。貫通口131の下端は紙片115の輪郭よりも内側で紙片115に重なる。紙片115の香気成分は貫通口131から板材111aの上方に向かって放散されることができる。内箱11の周囲には香りが漂う。ここでは、磁石126は板材111aの裏面に埋め込まれ

ることができる。板材 1 1 1 a の裏面は面一に整えられることができる。

[0109] 図 2 6 に示されるように、フレグランスユニット 1 1 1 は、前述の板材 1 1 1 a に代えて、窪み 6 1 の輪郭に合わせこまれて窪み 6 1 内に固定される板材 1 1 1 b を備えてもよい。板材 1 1 1 b は、表面に、インスタントフィルム 6 6 を受け止める第 1 平面（受け面）1 3 2 を規定し、裏面に、紙片 1 1 5 を受け止める第 2 平面（平面）1 3 3 を規定する。第 2 平面 1 3 3 は第 1 平面 1 3 2 に重ならず配置される。第 2 平面 1 3 3 は第 1 平面 1 3 2 から分離される。板材 1 1 1 b は例えば全体として透明体で構成されることができる。透明体は例えば硬質なアクリル樹脂で成型されることができる。その他、板材 1 1 1 b は不透明材から形成されてもよい。板材 1 1 1 b は通気を遮断する材質（非通気性の材質）で形成される。

[0110] フレグランスユニット 1 1 1 は、板材 1 1 1 b に取り付けられて、第 1 平面 1 3 2 に倣ってインスタントフィルム 6 6 を保持する第 1 保持体 1 3 4 と、板材 1 1 1 b に取り付けられて、第 2 平面 1 3 3 に倣って紙片 1 1 5 を保持する第 2 保持体 1 3 5 とを備える。第 1 保持体 1 3 4 は板材 1 1 1 b の表面に重ねられて板材 1 1 1 b との間にインスタントフィルム 6 6 を挟み保持する。第 1 保持体 1 3 4 は例えば全体として透明体で構成されることができる。透明体は例えば硬質なアクリル樹脂で成型されることができる。観察者は第 1 保持体 1 3 4 ごしにインスタントフィルム 6 6 の画像を鑑賞することができる。第 2 保持体 1 3 5 は、前述の第 2 保持体 1 2 2 と同様に、第 2 平面 1 3 3 の両側で平行に延びる 1 対の第 2 レール 1 2 3 に案内されて、第 2 平面 1 3 3 に倣って紙片 1 1 5 を保持する第 1 位置、および、第 2 平面 1 3 3 から離脱する第 2 位置の間で変位するスライダーである。第 2 保持体 1 3 5 は通気を遮断する材質（非通気性の材質）で形成される。

[0111] 第 1 保持体 1 3 4 の取り付けにあたって板材 1 1 1 b の表面には第 1 平面 1 3 2（インスタントフィルム 6 6）からずれた位置で磁性体（図示されず）が固定される。第 1 保持体 1 3 4 の裏面には個々に磁性体に作用する磁力を発揮する磁石（図示されず）が固定される。磁石は第 1 保持体 1 3 4 の裏

面に埋め込まれる。第1保持体134が板材111bの表面に受け止められる際に磁性体は磁石に面接触する。磁性体は、第1保持体134が板材111bに重ねられる際に磁石に重なる輪郭を有すればよい。磁力の働きで板材111bに第1保持体134は着脱自在に固定される。重ねられる板材111bおよび第1保持体134の間にインスタントフィルム66は挟み込まれる。磁性体および磁石は透明な材質で形成されてもよい。磁性体は板材111bの表面に埋め込まれてもよい。

[0112] ここでは、紙片115は、板材111bの表面に直交する方向に板材111bの裏面に投影されるインスタントフィルム66の輪郭の内側に配置される。紙片115はインスタントフィルム66の背後に配置されるので、表側から紙片115はインスタントフィルム66で隠されることができる。インスタントフィルム66の画像は良好に際立つことができる。ここでは、第1保持体134の輪郭は板材111bの輪郭に重ねられる。したがって、第1保持体134および板材111bは1つの直方体として認識されることができる。

[0113] なお、LEDランプ33は上箱体13に代わって下箱体12に支持されてもよい。その他、ダイヤモンド粒23は、ネックレスのチェーンを形成する複数の台座に搭載されてもよい。台座は例えばプラチナや金といった金属材から成形される。個々の台座には1個のダイヤモンド粒23が固定されてもよく複数のダイヤモンド粒23が固定されてもよい。その他、ダイヤモンド粒23は、ペンダントやブレスレット、ピアス、リング、アンクレット上にあしらわれてもよい。ダイヤモンド粒は均一な大きさでもよく大小混ぜ込まれてもよい。

[0114] 前述の内箱11では、スイッチ36に、上箱体13が開き位置に達すると上箱体13によって押し下げられるプランジャーを有するタクトスイッチが用いられてもよい。第1具体例に係る光照射回路38や第2具体例に係る光照射回路43は前述と同様な機能を実現する限り他の構成の電子回路に置き換えられてもよい。また、スイッチ36の動作は、前述のように開き位置に

位置する上箱体 1 3 に連動するだけでなく、閉じ位置に位置する上箱体 1 3 に連動してもよい。その他、光照射回路 3 8、4 3 や音声回路 4 8、保留回路 5 1 の機能はマイクロプロセッサ（MPU）で実行されるソフトウェアで実現されてもよい。

符号の説明

[0115] 1 1 …商品包装箱（内箱）、1 2 …下箱体、1 3 …上箱体、2 6 …ヒンジ、6 1 …窪み、6 2 a …板材（上板材）、6 2 b …支持板（下板材）、6 3 …板材の表面を含む水平面（平坦面）、6 4 …囲み、6 4 a …壁面、6 5 …（板材の外周に隣接する）空間、6 6 …インスタントフィルム、6 8 …水平面、6 9 a …紙片（第 1 紙片）、6 9 b …紙片（第 2 紙片）、8 9 …貫通口、1 1 1 a …板材、1 1 1 b …板材、1 1 2 …不透明膜、1 1 4 …受け平面（第 1 平面）、1 1 5 …紙片、1 1 6 …平面（第 2 平面）、1 1 7 …保持体（第 1 保持体）、1 2 2 …スライダー（第 2 保持体）、1 1 8 …（保持体の）レール（第 1 レール）、1 2 3 …レール（第 2 レール）、1 2 7 …水平面、1 2 9 …通路（貫通口）、1 3 1 …貫通口、1 3 2 …受け平面（第 1 平面）、1 3 3 …平面（第 2 平面）、1 3 4 …保持体（第 1 保持体）、1 3 5 …スライダー（第 2 保持体）、H s …間隔。

請求の範囲

- [請求項1] 下箱体と、
 前記下箱体にヒンジで開閉自在に連結されて、上面に窪みを区画する上箱体と、
 前記窪みの輪郭に合わせこまれて前記窪み内に固定され、前記窪み内で水平面に重ねられ香気成分を含有する紙片に覆い被さる板材とを備え、
 前記窪みは、前記板材の外周に隣接し前記板材の上面を含む水平面で開口する空間を区画することを特徴とする商品包装箱。
- [請求項2] 請求項1に記載の商品包装箱において、前記窪みの輪郭に合わせて前記板材の表面を含む水平面から起立し前記板材の表面上の空間を囲む壁面を有する囲みを備えることを特徴とする商品包装箱。
- [請求項3] 下箱体と、
 前記下箱体にヒンジで開閉自在に連結されて、上面に窪みを区画する上箱体と、
 前記窪みの輪郭に合わせこまれて前記窪み内に着脱自在に固定され、裏面に、香気成分を含有する紙片を受け止める平面を規定する板材と、
 前記板材の裏面に結合されて、前記平面の両側で平行に線形に延びる1対のレールと、
 前記レールに案内されて、前記平面に倣って前記紙片を保持する第1位置、および、前記平面から離脱する第2位置の間で変位するスライダーとを備え、
 前記窪みは、前記板材の外周に隣接し前記板材の上面を含む水平面で開口する空間を区画し、前記スライダーは、前記空間に、前記平面に接する前記紙片の収容空間を接続する通路を区画することを特徴とする商品包装箱。
- [請求項4] 請求項3に記載の商品包装箱において、前記板材に取り付けられて

、前記板材の表面または裏面に規定される受け平面に倣ってインストールフィルムを保持する保持体をさらに備えることを特徴とする商品包装箱。

[請求項5] 下箱体と、前記下箱体にヒンジで開閉自在に連結されて、上面に窪みを区画する上箱体と、前記窪みの輪郭に合わせこまれて前記窪み内に固定され、前記窪み内で水平面に重ねられ香気成分を含有する紙片に覆い被さる板材とを備え、前記板材は、前記紙片の輪郭よりも内側で前記紙片に重なり前記板材の上面で開口する貫通口を有することを特徴とする商品包装箱。

[請求項6] 下箱体と、
前記下箱体にヒンジで開閉自在に連結されて、上面に窪みを区画する上箱体と、
前記窪みの輪郭に合わせこまれて前記窪み内に着脱自在に固定され、裏面に、香気成分を含有する紙片を受け止める平面を規定する板材と、
前記板材の裏面に結合されて、前記平面の両側で平行に線形に延びる1対のレールと、
前記レールに案内されて、前記平面に倣って前記紙片を保持する第1位置、および、前記平面から離脱する第2位置の間で変位するスライダーとを備え、
前記板材は、前記平面に接する前記紙片の収容空間に接続されて前記板材の表面で開口する貫通口を区画することを特徴とする商品包装箱。